

長野県植物地理の資料 (3)

金井弘夫^a・清水建美^b・山本雅道^c

^a国立科学博物館植物研究部 169 東京都新宿区百人町 3-23-1

^b金沢大学理学部植物自然史講座 920-11 金沢市角間町

^c信州大学教養部生物学教室 390 松本市旭 3-1-1

Materials for Phytogeography of Nagano Prefecture, Central Japan (3)

Hiroo KANAI^a, Tatemi SHIMIZU^b and Masamichi YAMAMOTO^c

^a Department of Botany, National Science Museum, Tokyo

3-23-1 Hyakunin-cho, Shinjuku-ku, Tokyo, 169 JAPAN

^b Department of Botany and Herbarium, Faculty of Science, Kanazawa University

Kakuma-cho, Kanazawa, 920-11 JAPAN

^c Biological Institute and Herbarium, Faculty of Liberal Arts, Shinshu University

3-1-1 Asahi, Matsumoto, 390 JAPAN

(Received on July 3, 1993)

Distribution maps of 46 plants (Table 1) were prepared on the basis of nearly eight thousand accumulated computer data for "Flora of Nagano Prefecture" through a mapping program KLIPS. Critical comments on each distribution pattern were given especially in comparison with already published distribution maps of Niigata, neighbouring prefecture.

(Continued from Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo Ser. B 19 : 95-112, 1993)

長野県植物誌のために蓄積された 8578 件のレコードに基づき、46 種類の分布図を示し、隣接県におけるデータがあれば共に図示した。とくに新潟県分布図からは多くの示唆を得たが、前報でのべたように、同分布図のデータは位置座標との対応をとるのが困難なので自動作図のデータとせず、水平分布図を約 45% 縮小して長野県分布図と重ね合わせ、手貼りにより▲又は一で示した。必要あれば新潟県分布図を共に図示した。垂直分布図では長野県植物誌以外のデータは除外し、Pnt および Rec の数値も長野県植物誌のデータのみ示した。

ヤマナラシ (*Populus sieboldii* 図 1 A)。1000 m を中心に散生しているが、県南端部に乏しいよう

である。

ダケカンバ (*Betula ermanii* 図 1 B)。1000 m 以上に産するが、産地高度の幅が大きいため垂直分布帯は意外に上がっていない。

シラカンバ (*Betula platyphylla* 図 2 A)。目につき易い植物なのでレコード数はかなり多いが、垂直分布の様子はヤマナラシとよく似ている。しかし新潟県ではヤマナラシが低地にまで見られるのに対して、シラカンバは内陸の県界付近に分布している。

カナビキソウ (*Thesium chinense* 図 2 B)。低地の分布型であるが、県中央部で産地の高度が上がっている。

オオイタドリ (*Reynoutria sachalinensis* 図 3 A)。

表 1 対象植物の表

植物名	Plant name	Plant code	Map	Percentage of valid mesh
アオキ	<i>Aucuba japonica</i>	38330	11A	4
イワナシ	<i>Epigaea asiatica</i>	40590	16A	6
ウマノミツバ	<i>Sanicula chinensis</i>	39780	15A	22
エノキグサ	<i>Acalypha austalis</i>	30830	9A	14
エビガライチゴ	<i>Rubus phoenicorasius</i>	27220	7B	21
オオイタドリ	<i>Reynoutria sachalinensis</i>	14360	3A	11
オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i>	42810	19A	37
オガラバナ	<i>Acer ukurunduense</i>	32880	10A	14
オクモミジハグマ	<i>Ainsliaea acerifolia</i> var. <i>subapoda</i>	54510	20B	21
カナビキソウ	<i>Thesium chinense</i>	13450	2B	8
カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i>	67330	22A	31
クサレダマ	<i>Lysimachia vulgaris</i> var. <i>davurica</i>	42970	19B	7
クズ	<i>Pueraria lobata</i>	29680	8B	32
コクサギ	<i>Orixa japonica</i>	31680	9B	15
コメガヤ	<i>Melica nutans</i>	68910	22B	9
サルナシ	<i>Actinidia arguta</i>	20390	5A	28
シキミ	<i>Illicium anisatum</i>	16350	4A	2
シシウド	<i>Angelica pubescens</i>	39030	14A	24
シラカンバ	<i>Betula platyphylla</i>	11460	2A	32
ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>	69090	23A	45
タガネソウ	<i>Carex siderosticta</i>	76070	23B	29
ダケカンバ	<i>Betula ermanii</i>	11340	1B	18
ツガザクラ	<i>Phyllodoce nipponica</i>	40930	16B	6
トモエソウ	<i>Hypericum ascyron</i>	20850	5B	13
ニリンソウ	<i>Anemone flaccida</i>	17460	4B	13
ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i>	28220	8A	8
ハナイカダ	<i>Helwingia japonica</i>	38450	12B	27
ハリギリ	<i>Oplopanax japonicus</i>	38720	13B	24
ハリブキ	<i>Kalopanax pictus</i>	38700	13A	10
ヒカゲツツジ	<i>Rhododendron keiskei</i>	41480	17A	5
ヒメアオキ	<i>Aucuba japonica</i> var. <i>borealis</i>	38340	11B	6
ヒメマイズルソウ	<i>Maianthemum bifolium</i>	62800	21A	5
フシグロセンノウ	<i>Lychnis miqueliana</i>	14950	3B	21
ホタルサイコ	<i>Bupleurum longiradiatum</i>	39190	14B	10
ホツツジ	<i>Tripetaleia paniculata</i>	42270	18B	27
マイズルソウ	<i>Maianthemum dilatatum</i>	62810	21B	23
ミズタマソウ	<i>Circaea mollis</i>	37920	10B	17
ミヤマホツツジ	<i>Tripetaleia bracteata</i>	42260	18A	7
ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i>	21380	6A	18
モチツツジ	<i>Rhododendron macrosepalum</i>	41590	17B	3
モミジハグマ	<i>Ainsliaea acerifolia</i>	54500	20A	2
ヤグルマソウ	<i>Rodgersia podophylla</i>	24570	6B	24
ヤマナラシ	<i>Populus sieboldii</i>	09540	1A	15
ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i>	25390	7A	32
ヤマボウシ	<i>Benthamidia japonica</i>	38360	12A	17
リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i>	40180	15B	41

県中部以南の産地は工事などによる持ち込みの可能性が高い。新潟県では海岸部と県界部に産地がかたより、その間の地域にはあまり多くない。

フシグロセンノウ (*Lychnis miqueliana* 図 3 B)。県北部には産地が乏しい。新潟県では苗場山付近をのぞいて産しない。

シキミ (*Illicium anisatum* 図 4 A)。南端部に見られるのみであるが、産地はまだ増加するものと思われる。新潟県では佐渡の海岸以外には記録されていない。

ニリンソウ (*Anemone flaccida* 図 4 B)。ほぼ一様に分布すると思われるが、現在のデータでは南部に少ない。

サルナシ (*Actinidia arguta* 図 5 A)。新潟県・長野県とも広く分布している。

トモエソウ (*Hypericum ascyron* 図 5 B)。県中央部に多く南北部には少ない。新潟県ではきわめて少ない。同県では「ラショウモンカズラ型分布」とされる。この型は日本全体としては太平洋側に広く分布し、新潟県では県界付近や、低い高度で太平洋側に連絡する地域の川の流域沿いに分布している植物のうち、とくに阿賀野川流域に多産し、弥彦山、角田山、佐渡にも分布するもので、石沢 (1980) や松田 (1981) が詳細な検討を行っている。

ムラサキケマン (*Corydalis incisa* 図 6 A)。長野県には普通だが、新潟県の隣接部では非常に少ない。しかし新潟県中部にはかなり多く見られる。

ヤグルマソウ (*Rodgersia podophylla* 図 6 B)。山地にはかなり普通に産するようである。

ヤマブキ (*Kerria japonica* 図 7 A)。垂直分布帯は狭い。普通な植物だが、岐阜県とくらべると北アルプス沿いの産地が乏しい。本種に限らず、長野県の広分布種にはこの傾向がみられる。(例クズ)。データ不足のためか、あるいは本当に分布に偏りがあるためかは、今後注意して調査する必要がある。新潟県に入ると本種は糸魚川付近、弥彦山付近、阿賀野川中流に集中しており、ほかには見られない。

エビガライチゴ (*Rubus phoenicolasius* 図 7 B)。かなり分布は広い。新潟県の隣接部では、高田・米山・長岡を結ぶ地域には達しない。

ネムノキ (*Albizia julibrissin* 図 8 A)。高度の低い地域に意外なほど少ない分布をしており、岐阜・愛知県の分布様態と大差がある。新潟県では低山地に広く分布する。

クズ (*Pueraria lobata* 図 8 B)。ヤマブキと同様な分布型をしている。垂直分布帯が思いのほか狭いこともヤマブキと同様である。

エノキグサ (*Acalypha australis* 図 9 A)。低い地域にかなり広く産する。

コクサギ (*Orixa japonica* 図 9 B)。県の南北端に少なくなるような分布をしているが、南端から県中央部の産地は連続している可能性がある。新潟県ではきわめて稀である。

オガラバナ (*Acer ukurunduense* 図 10 A)。高度の高いところに広く分布する型である。北アルプス北部はまだデータ不足とみられる。

ミズタマソウ (*Circaea mollis* 図 10 B)。長野・新潟県とも広い分布をもつが、高度分布は新潟県がはるかに低い。垂直分布帯は長野県が 500~1200 m であるのに対して新潟県は 0~400 m であり、最高の産地でも 750 m にすぎない。

アオキ (*Aucuba japonica* 図 11 A) とヒメアオキ (*Aucuba japonica* var. *borealis* 図 11 B)。アオキは南部に、ヒメアオキは北部に分かれている。両植物とも県中央部にとび離れたデータがあるが、主分布域とのつながり確かめる必要がある。アオキの 138° E 以東の産地は、松本市牛伏山 [38136114] (松田行雄 1986 年 4 月)、戸倉町自在山 [38136334] (信州大ゼミ 1985 年 8 月)、富士見町上蔦木 [38235611] (横内文人 1981 年 4 月)、富士見町下蔦木 [38235611] (横内文人 1982 年 5 月)、ヒメアオキの県中部の産地は生坂村雲根 [37436343] (松田行雄 1958 年 5 月)、波田村鷺沢 [37436211] (松田行雄 1978 年 6 月) である。新潟県分布図には「アオキ」として多産することが示されているが、ヒメアオキとアオキを区別しているかどうか不明なので、比較しなかった。

ヤマボウシ (*Benthamedia japonica* 図 12 A) とハナイカダ (*Helwingia japonica* 図 12 B)。分布密度にいく分差があるが、同じパターンであり、垂直分布帯も似ている。新潟県でも同様である。

ハリブキ (*Kalopanax pictus* 図 13 A)。垂直分

布帯が 1500~2200 m の山地なので、分布点は少ないが、北アルプスのデータはまだ不足である。新潟県では県界附近のみにみられるが、北部は少ない。

ハリギリ (*Oplopanax japonicus* 図 13 B). 一樣にたくさん分布するが、標本データに乏しい。

シシウド (*Angelica pubescens* 図 14 A). 広く分布し、産地高度も幅広いが、県の東半に多く西半に少ない傾向がある。

ホタルサイコ (*Bupleurum longiradiatum* 図 14 B). 県中央にかたまっている。新潟県では産地が点在している。

ウマノミツバ (*Sanicula chinensis* 図 15 A). 一面に分布するはずだが、県南部のデータが少ない。

リョウブ (*Clethra barbinervis* 図 15 B). これも広く分布する種である。

イワナシ (*Epigaea asiatica* 図 16 A). 県北部では低地にも出現するが、中部では 1500 m 附近に登る。北アルプスのデータはまだ不足である。

ツガザツラ (*Phyllodoce nipponica* 図 16 B). 高山帯に分布するパタンである。

ヒカゲツツジ (*Rhododendron keiskei* 図 17 A). 松本、諏訪地域の空白を挟んで分布が二つに分かれている。南部にはもっとデータがあってもよさそうである。

モチツツジ (*Rhododendron macrosepalum* 図 17 B). 県最南部に僅かに入っているのみである。

ミヤマホツツジ (*Tripetaleia bracteata* 図 18 A). 分布パタンはツガザツラと同様であるが、北部では高度が著しく下がっている。

ホツツジ (*Tripetaleia paniculata* 図 18 B). 広い分布をもつ。

オカトラノオ (*Lysimachia clethroides* 図 19 A). これも広く分布するが、ホツツジにくらべて産地の上限が抑えられている。

クサレダマ (*Lysimachia vulgaris* var. *davurica* 図 19 B). 湿地生のもので、分布は生育地の

分布に左右されているようだ。

モミジハグマ (*Ainsliaea acerifolia* 図 20 A) と オクモミジハグマ (*Ainsliaea acerifolia* var. *subapoda* 図 20 B). オクモミジハグマは広く分布しているが、モミジハグマは県の東半に稀に見られるにすぎない。

ヒメマイズルソウ (*Maianthemum bifolium* 図 21 A) と マイズルソウ (*Maianthemum dilatatum* 図 21 B). マイズルソウは垂直分布帯が 1000~2000 m で広い分布をもつのにたいして、ヒメマイズルソウは県中央部の山地にのみみられ、垂直分布帯は狭くてやや低い。

カモガヤ (*Dactylis glomerata* 図 22 A). 牧草としての栽植を含め、広い分布をもつ。

コメガヤ (*Melica nutans* 図 22 B). 県南部には見られない。

ススキ (*Miscanthus sinensis* 図 23 A). 広く分布しており、県の全メッシュの 45% を占める。

タガネソウ (*Carex siderosticta* 図 23 B). ススキよりは少ないが、広い分布をもっている。

引用文献 (第一報に記した以外のもの)

- 石沢 進 1980. 新潟県における植物分布の類型 (1). 新潟県植物分布図集 第 1 集: 176-178.
 松田義徳 1981. 新潟県における「ラショウモンカズラ型」分布の植物. 新潟県植物分布図集 第 2 集: 411-422.

図 1~23 の記号の説明. ●: 標本. +: 文献. -: 視認. ▲, —: 新潟県分布図による. ▶◀: 垂直分布帯. Pnt: 有効メッシュ数. Rec: 参照レコード数. 垂直分布図には長野県植物誌のデータのみ表示する. Pnt と Rec についても同じ.

Legend of marks in Figs. 1-23. ●: Specimen. +: Literature. -: Unpublished record. ▲, —: Record from "Distribution Maps of Niigata Pref." ▶◀: Median lowest and highest. Vertical distribution maps, Pnt and Rec were based on the records of "Flora of Nagano Prefecture" exclusively.

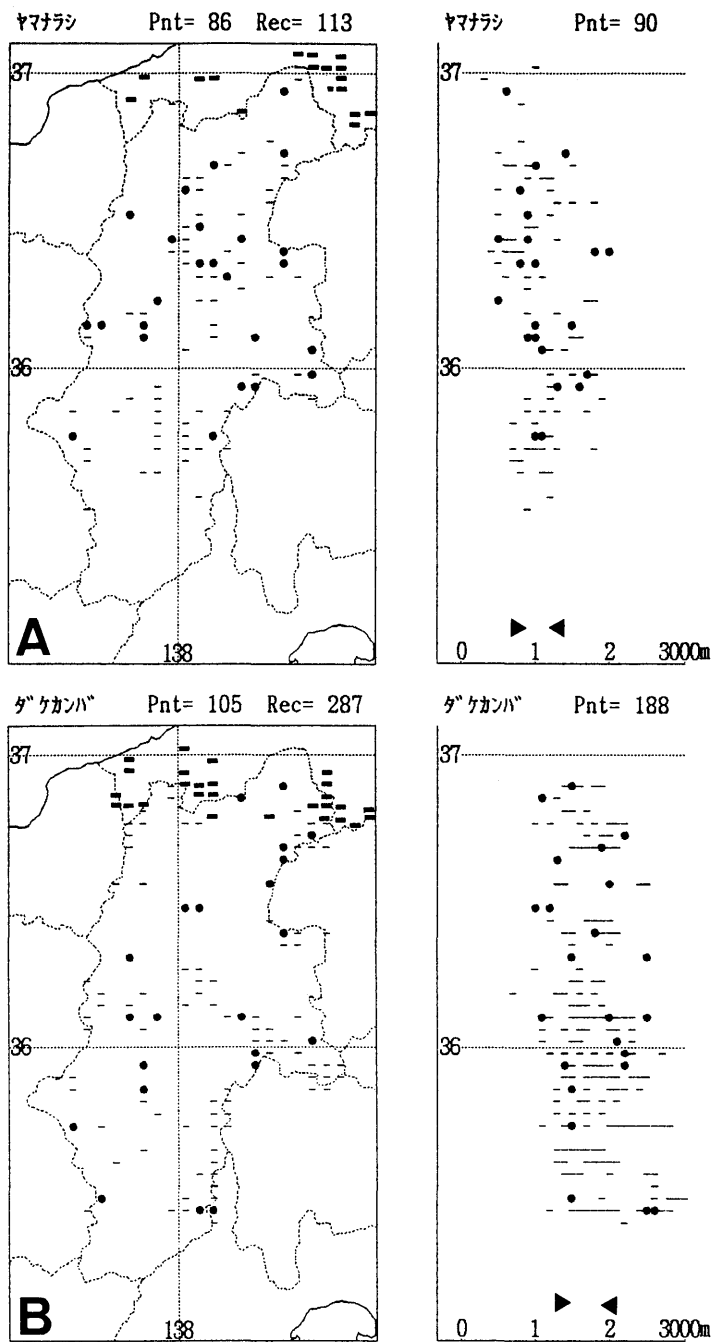


図1. A: *Populus sieboldii*. B: *Betula ermanii*.

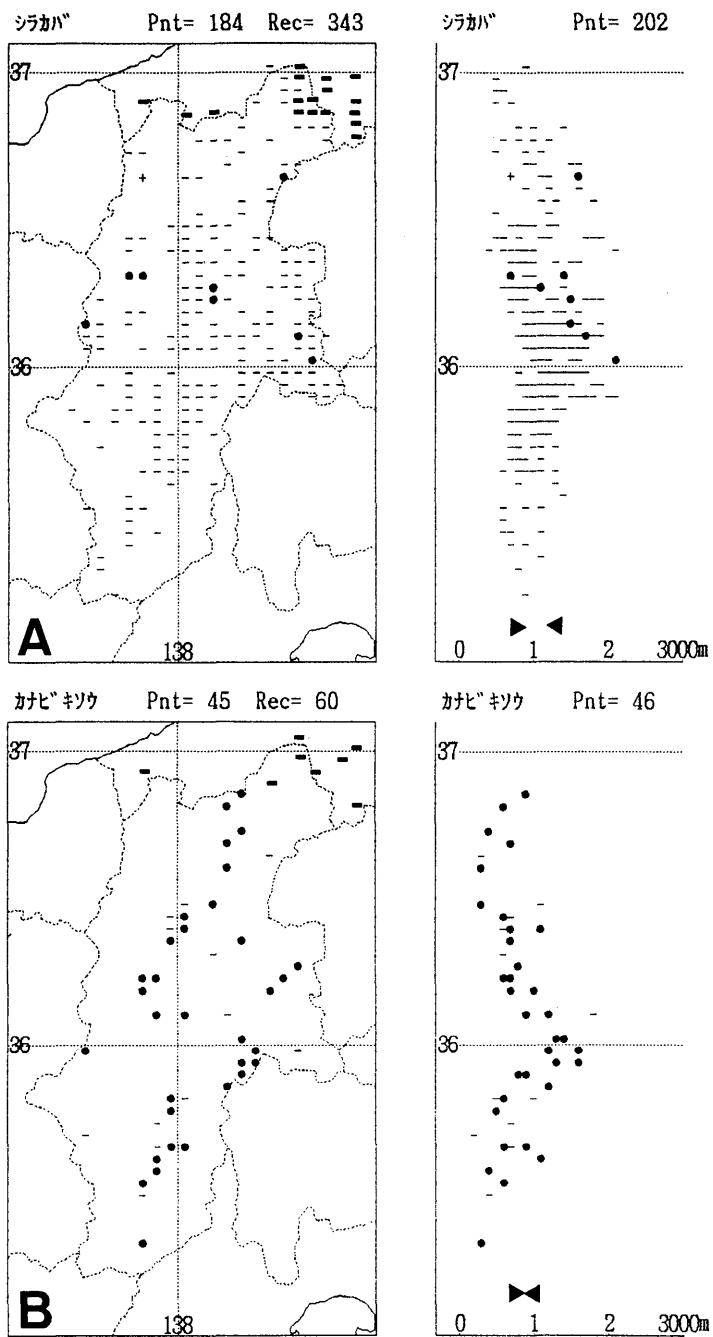


図2. A: *Betula platyphylla*. B: *Thesium chinense*.

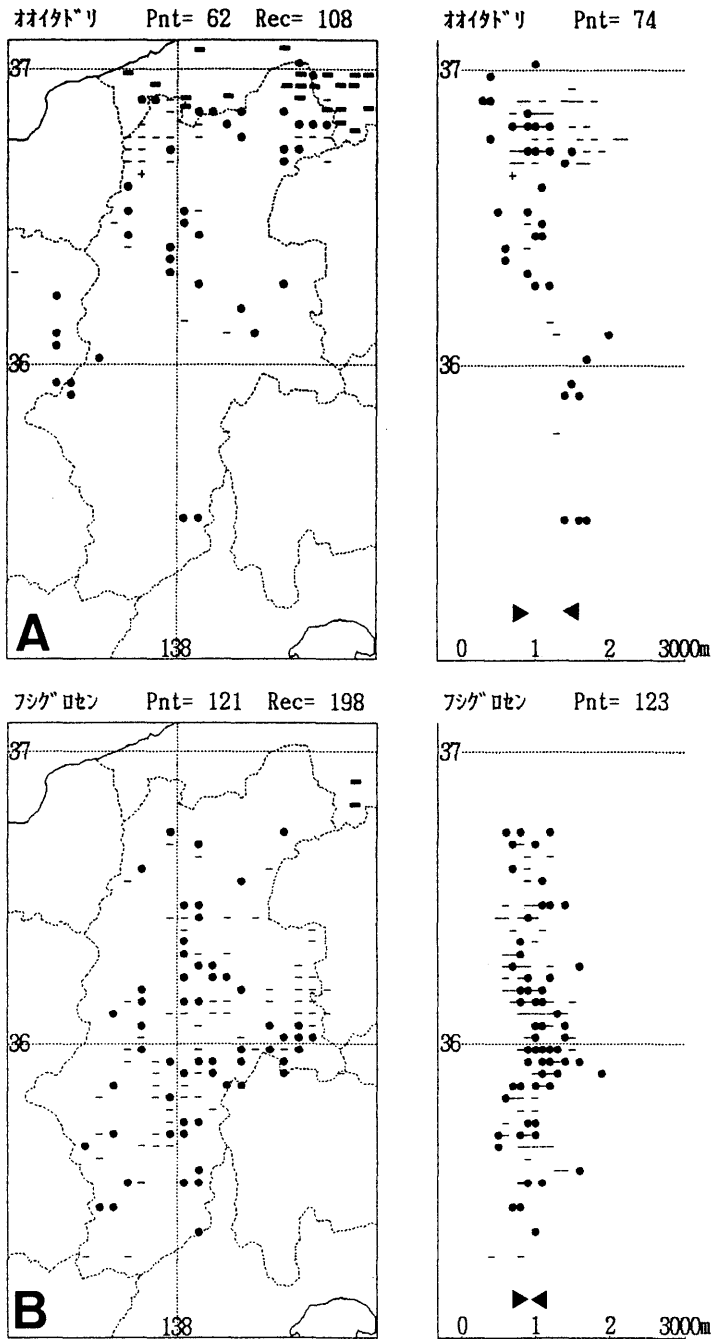


図3. A : *Reynoutria sachalinensis*. B : *Lychnis miqueliana*.

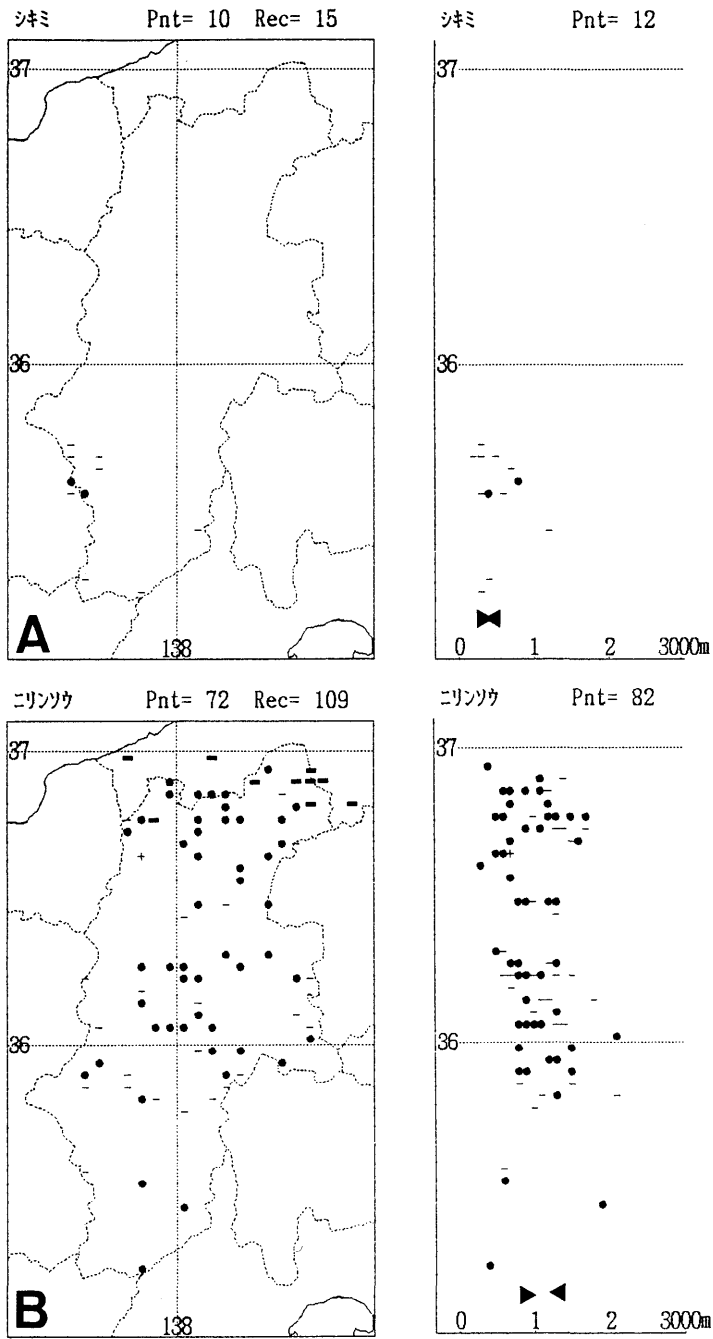


図 4. A : *Illicium anisatum*. B : *Anemone flaccida*.

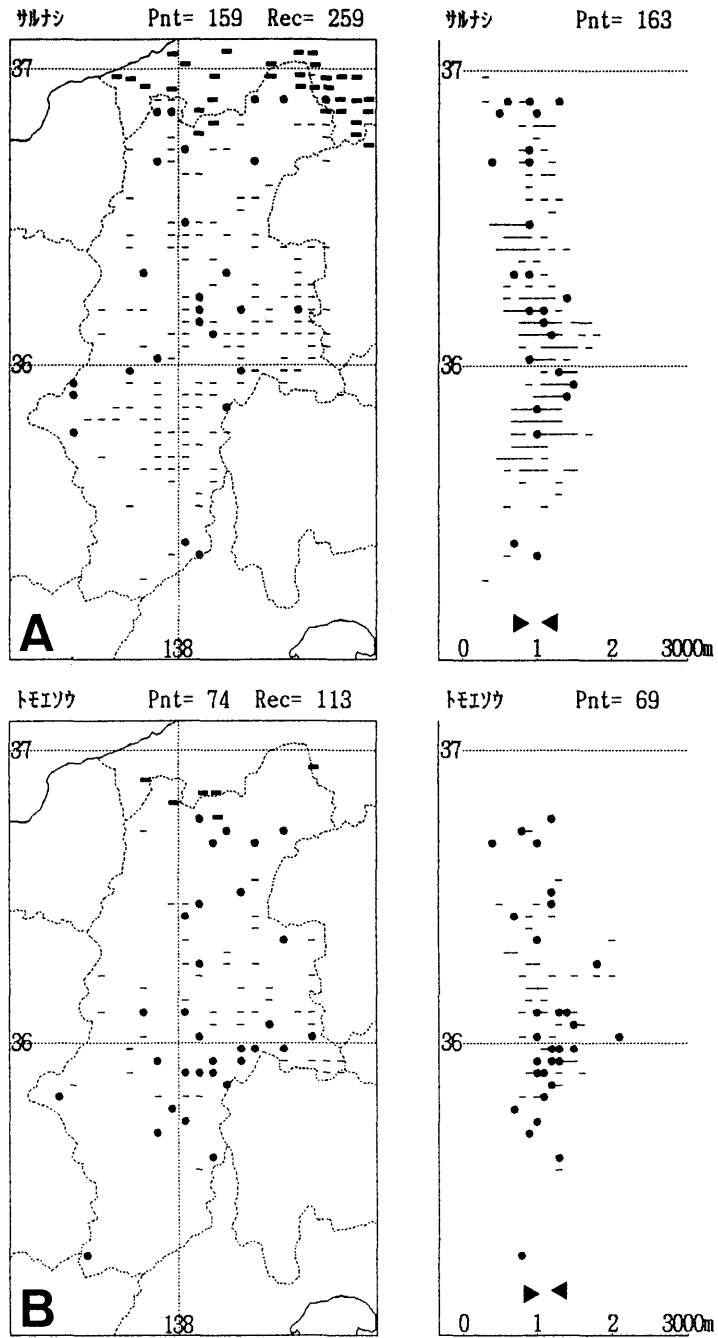


図5. A: *Actinidia arguta*. B: *Hypericum ascyron*.

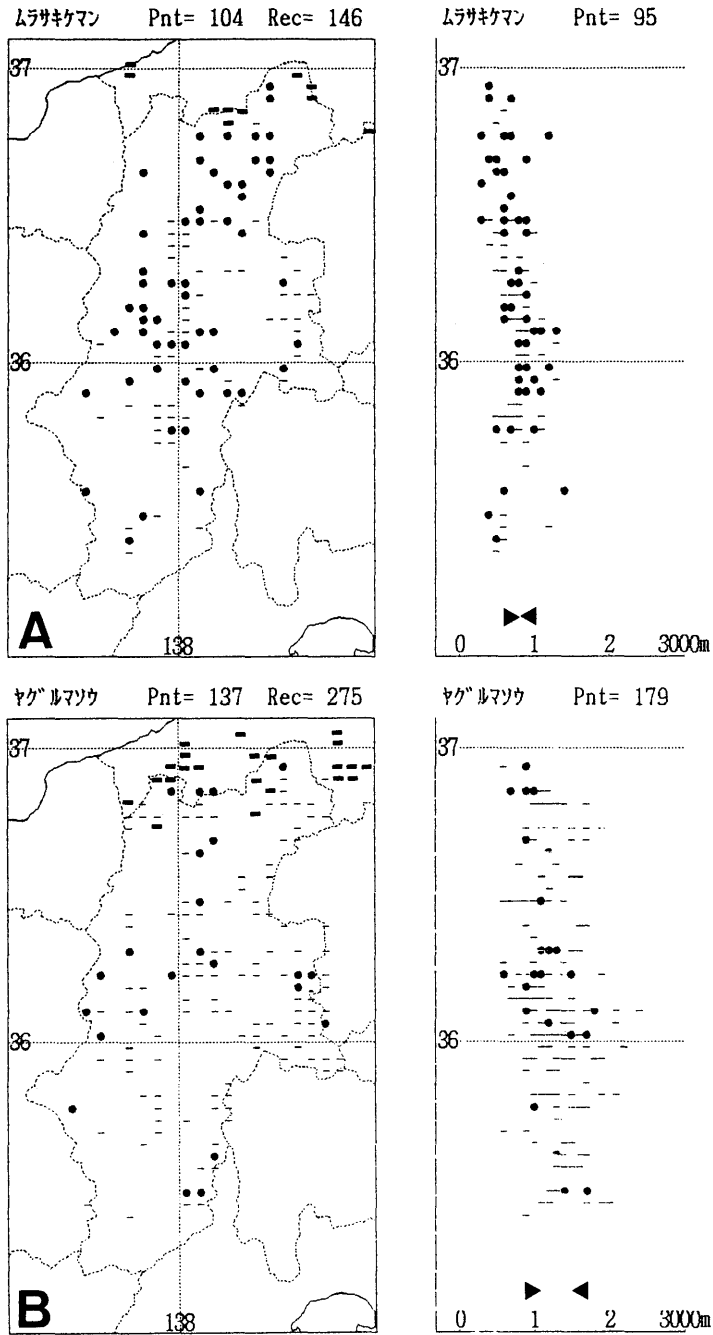


図 6. A : *Corydalis incisa*. B : *Rodgersia podophylla*.

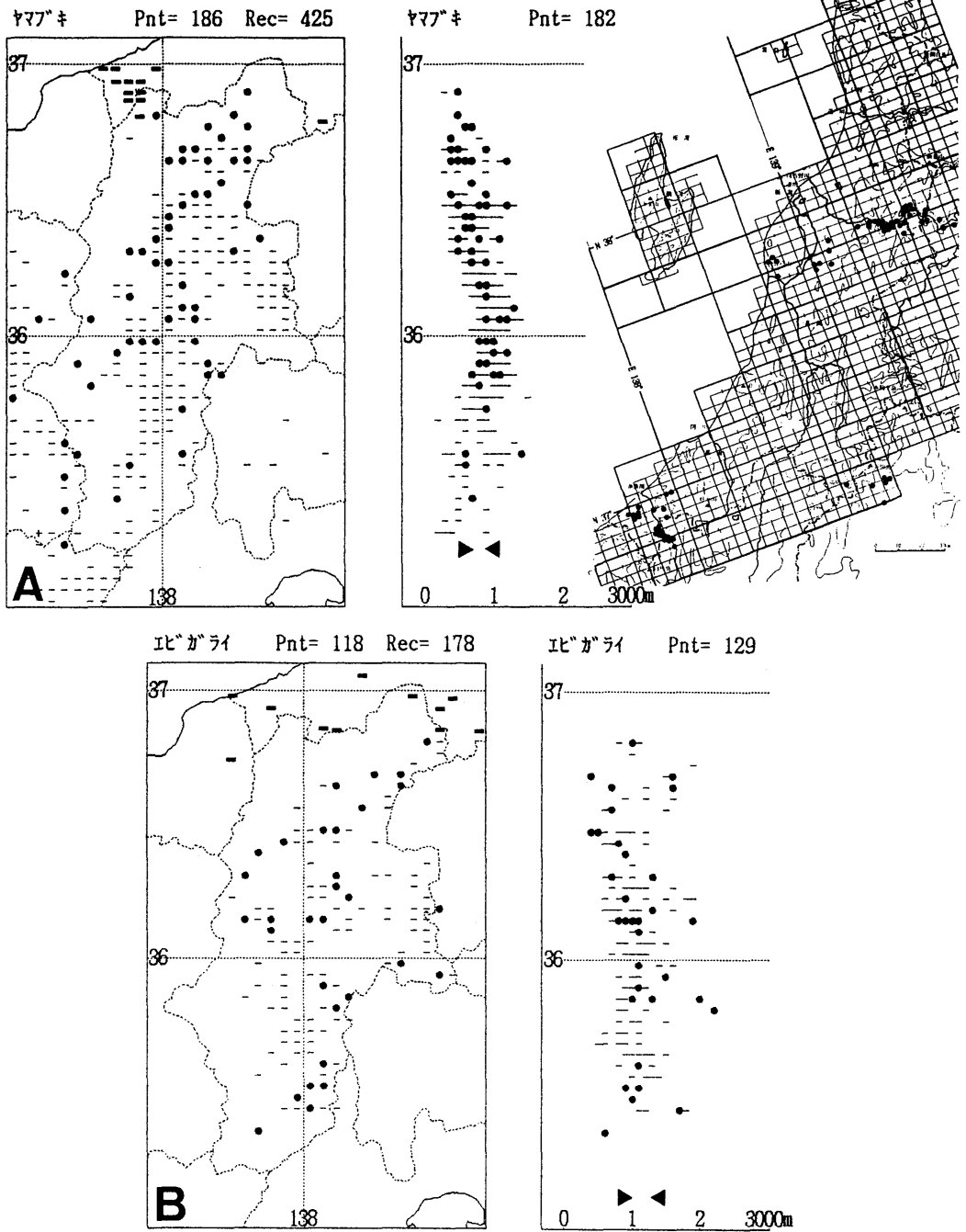


図7. A : *Kerria japonica*. B : *Rubus phoenicolasius*.

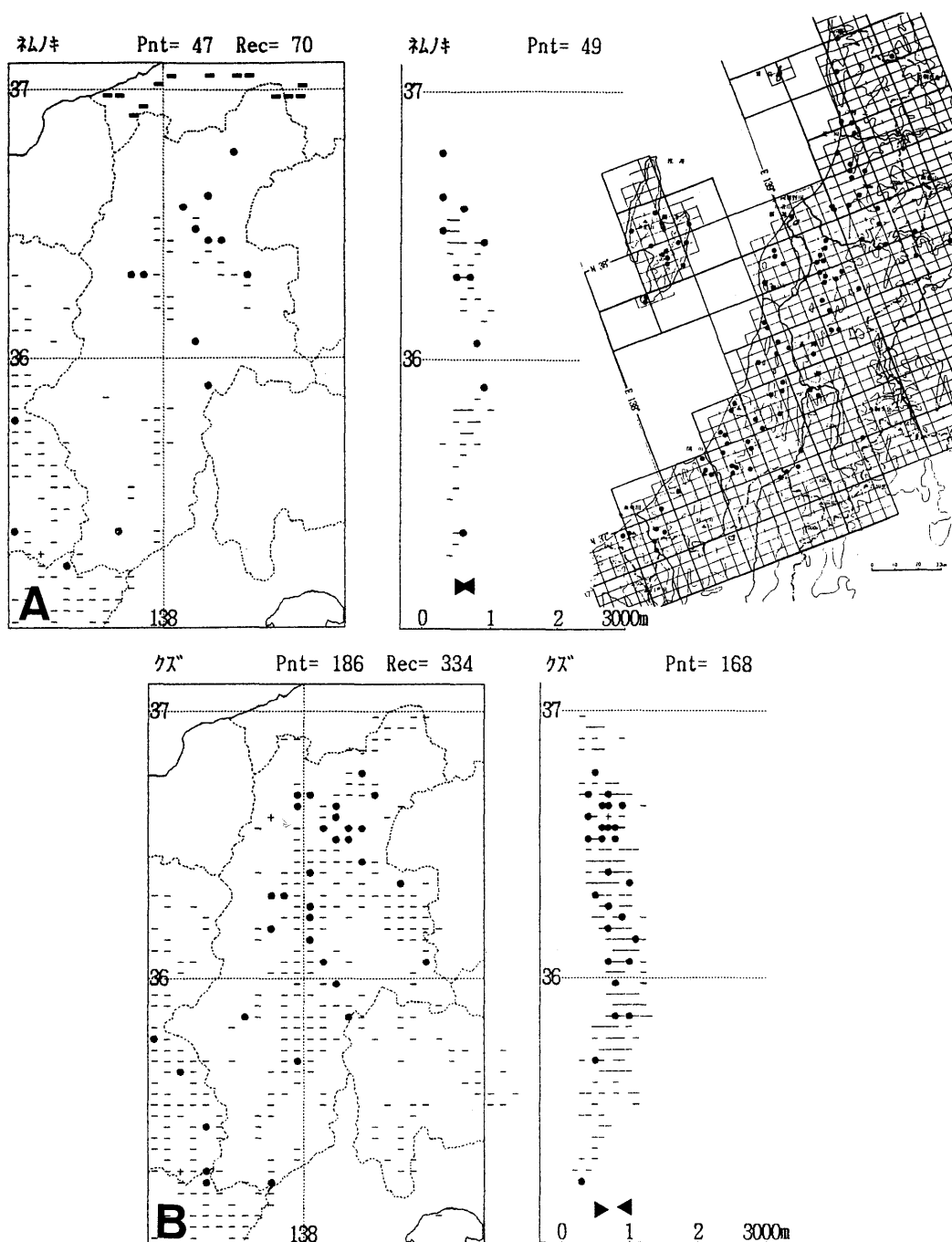


図 8. A : *Albizia julibrissin*. B : *Pueraria lobata*.

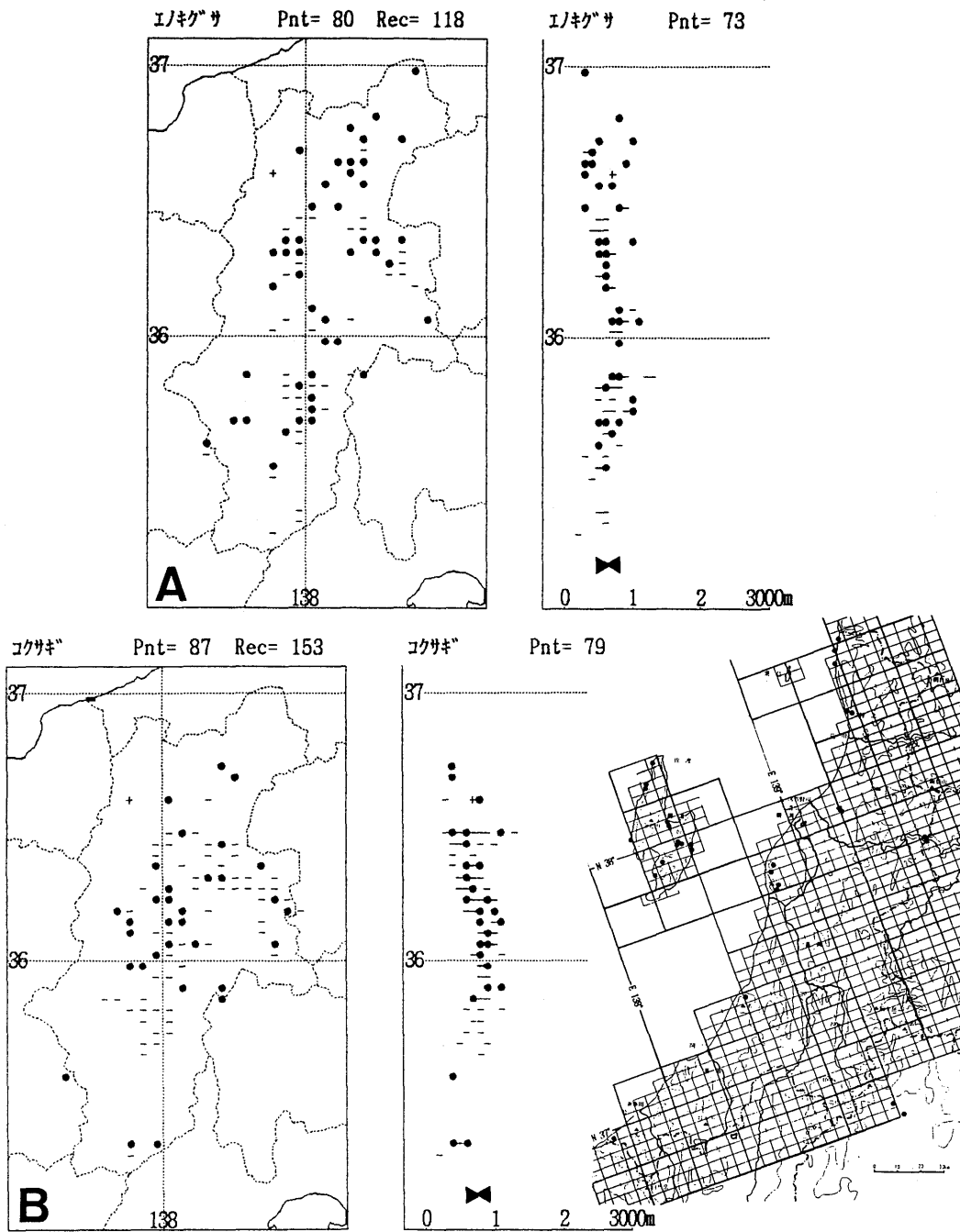


図9. A: *Acalypha australis*. B: *Oriza japonica*.

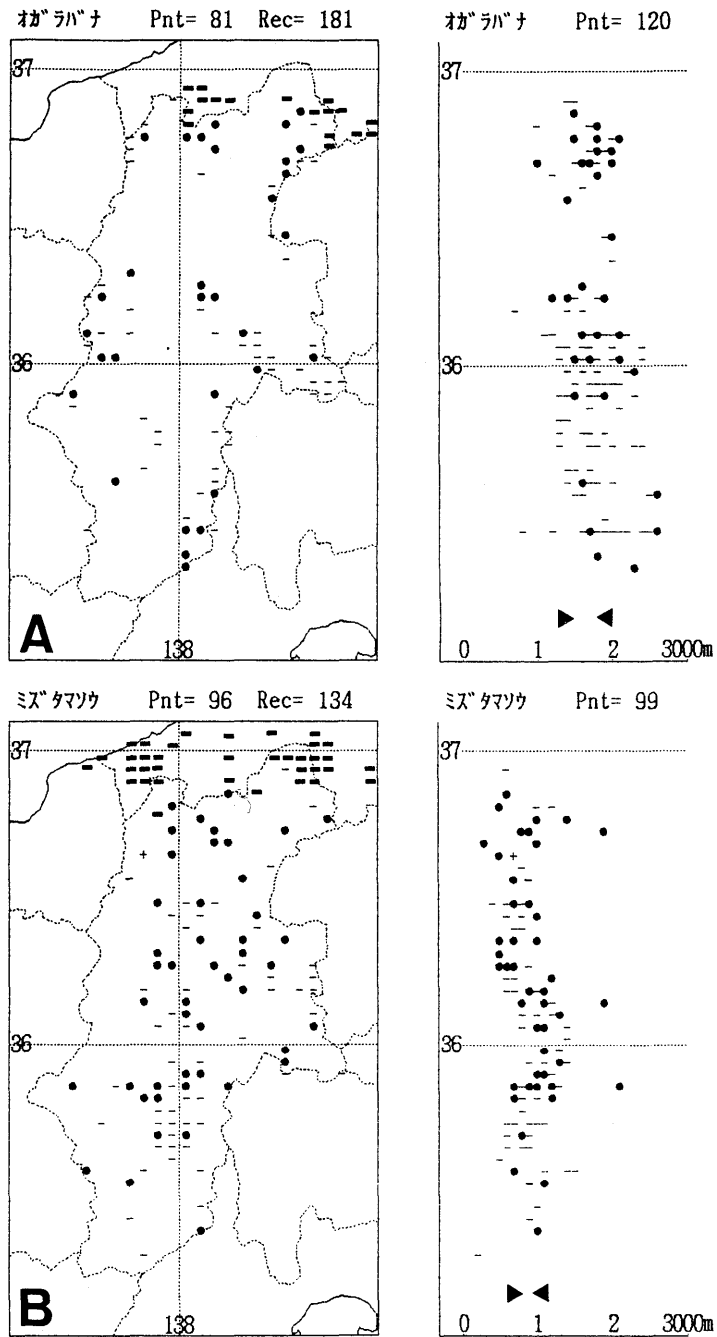


図 10. A : *Acer ukurunduense*. B : *Circaea mollis*.

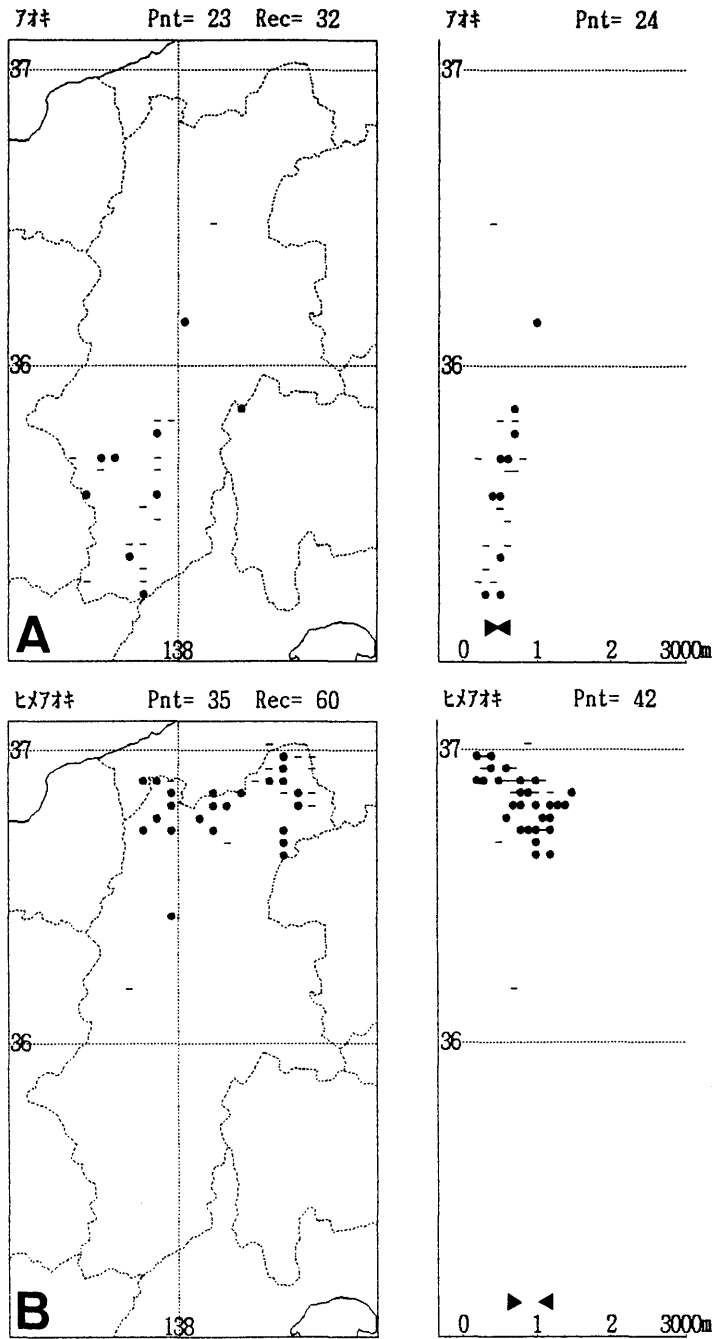


図 11. A : *Aucuba japonica*. B : *Aucuba japonica* var. *borealis*.

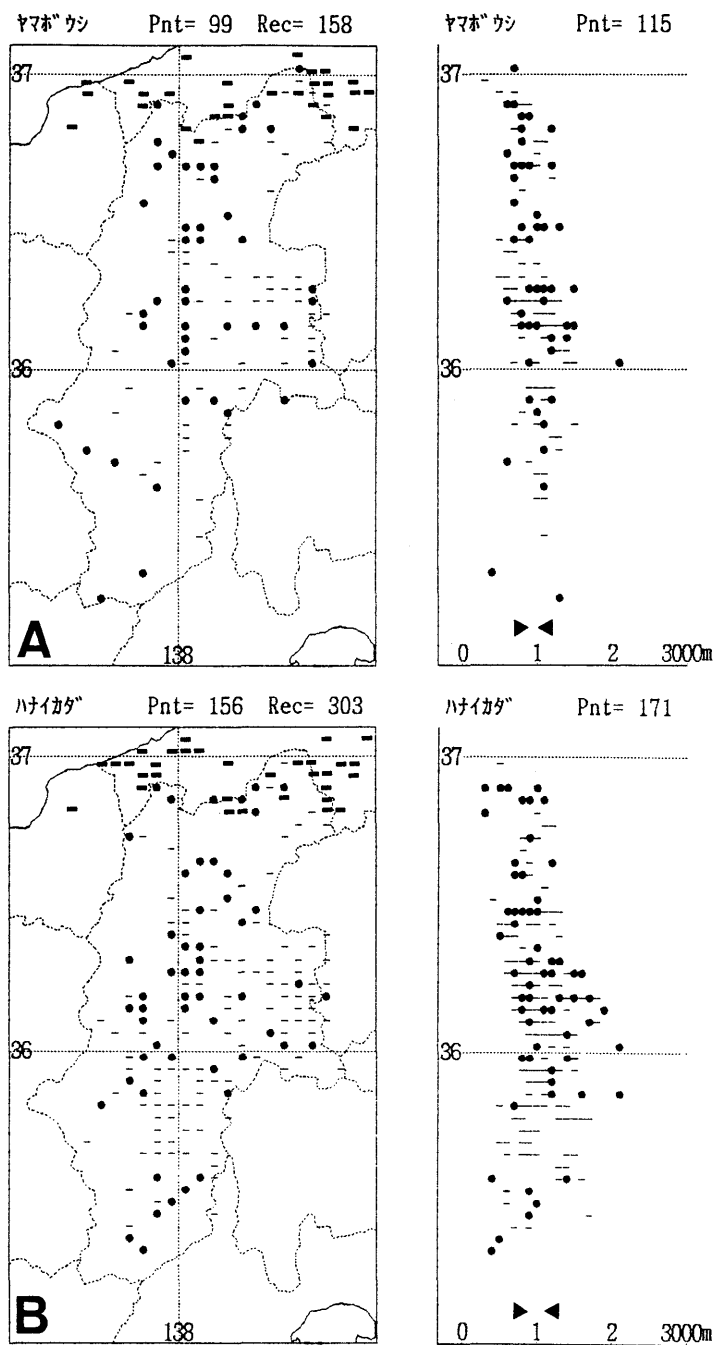


図 12. A : *Benthamidia japonica*. B : *Helwingia japonica*.

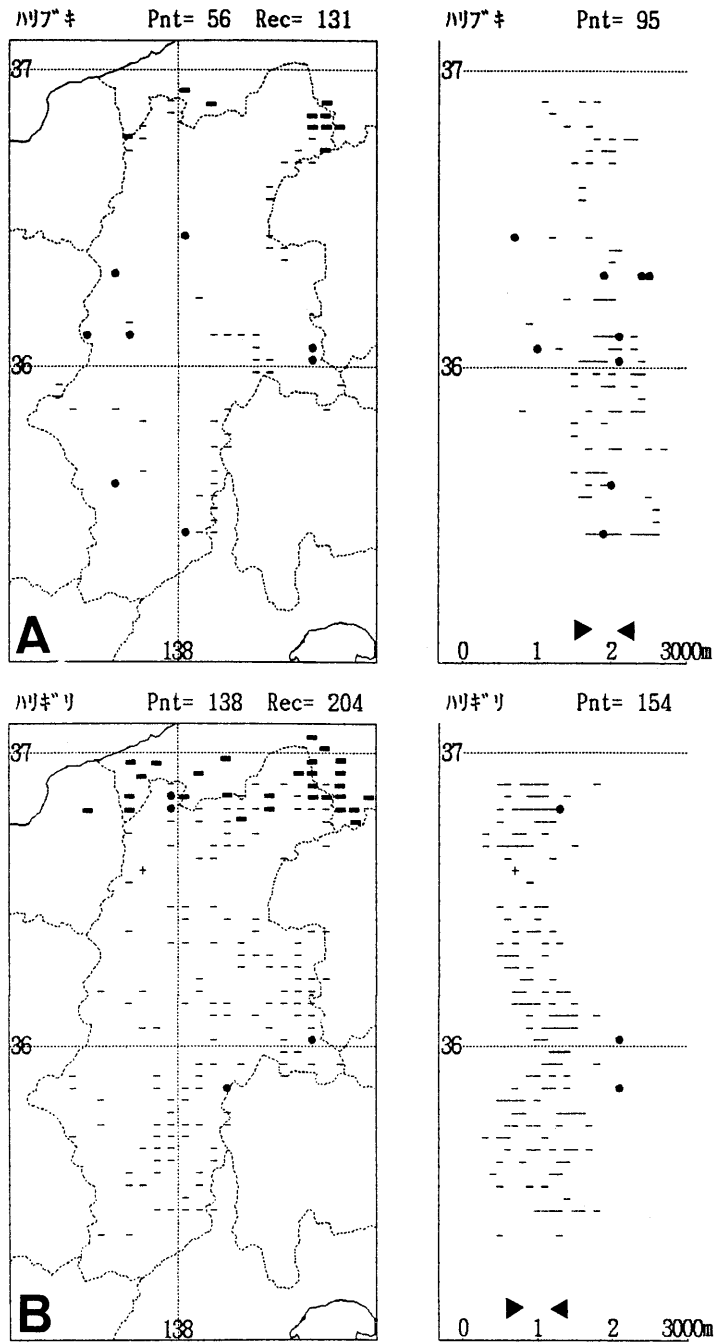


図 13. A : *Kalopanax pictus*. B : *Oplonax japonicus*.

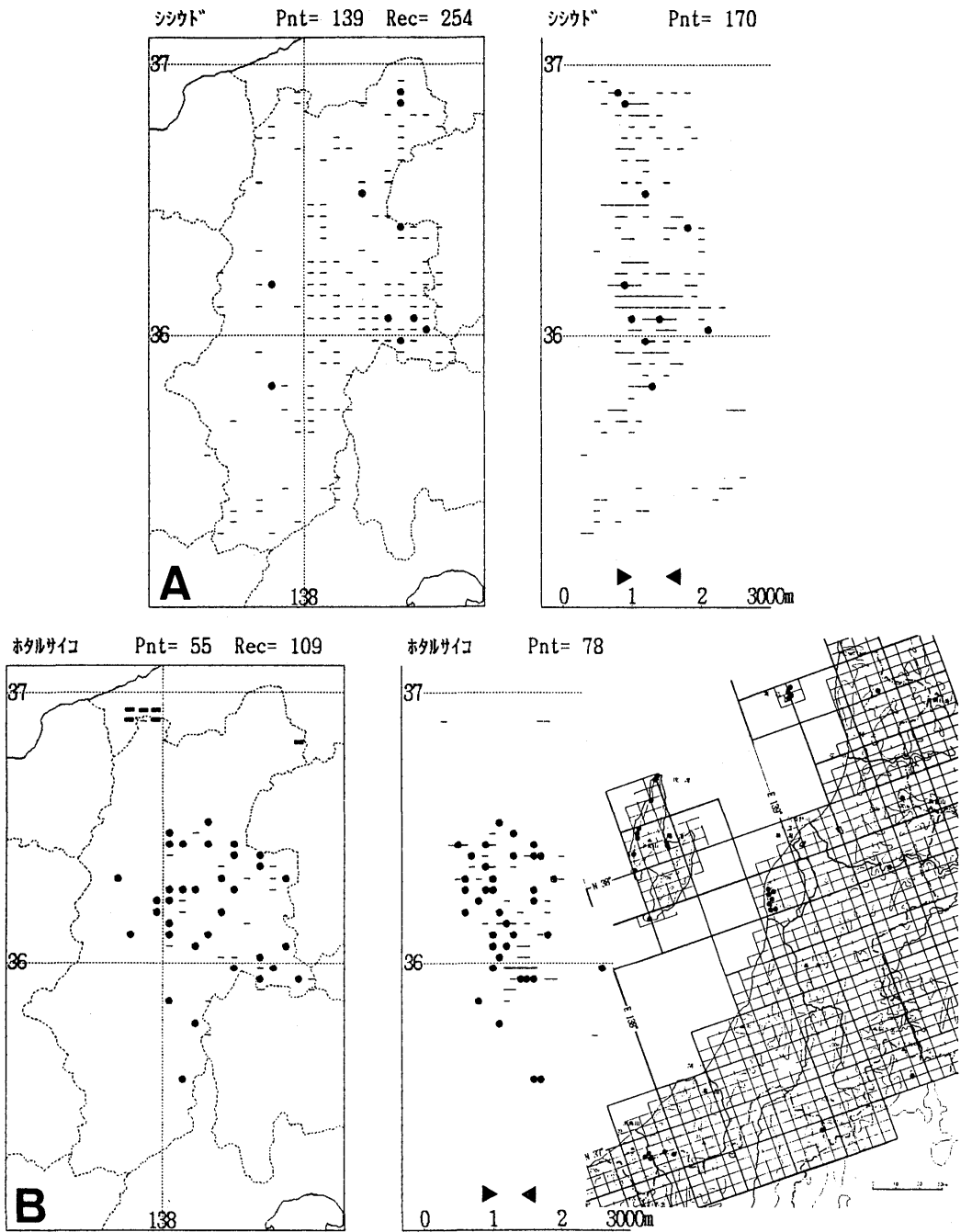


図 14. A : *Angelica pubescens*. B : *Bupleurum longiradiatum*.

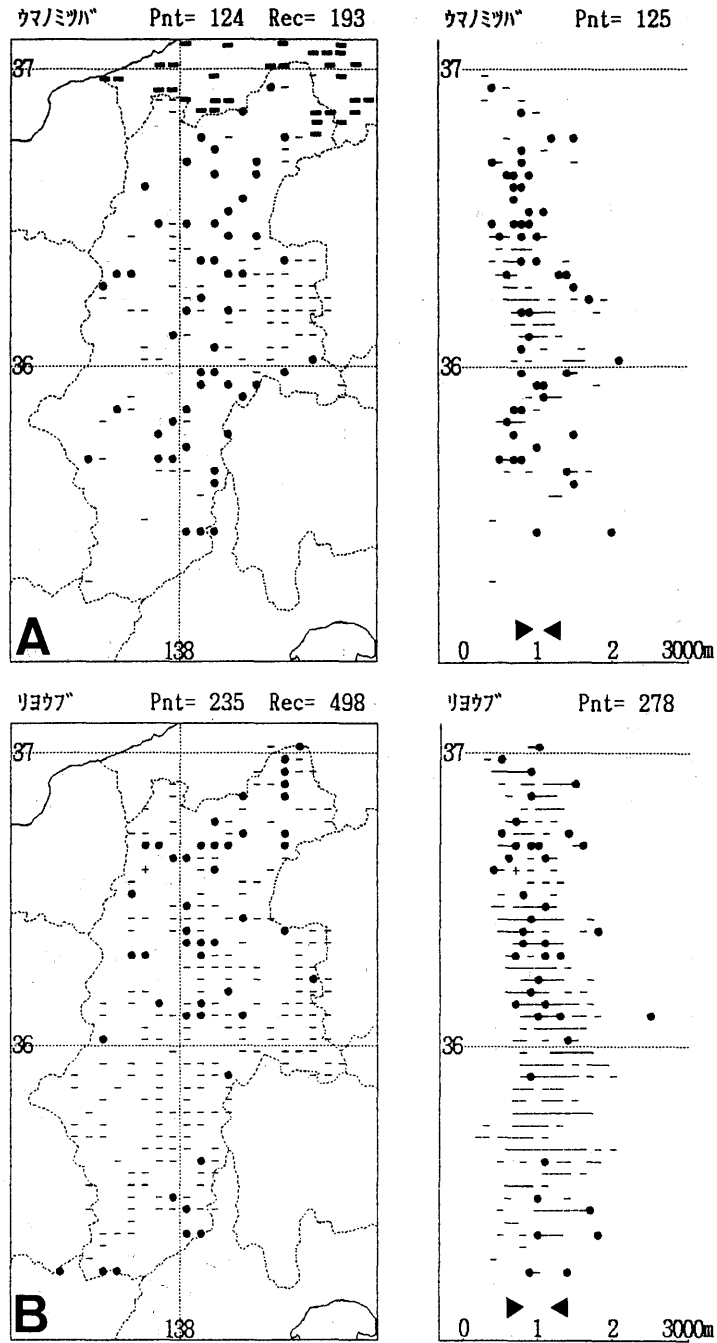


図 15. A : *Sanicula chinensis*. B : *Clethra barbinervis*.

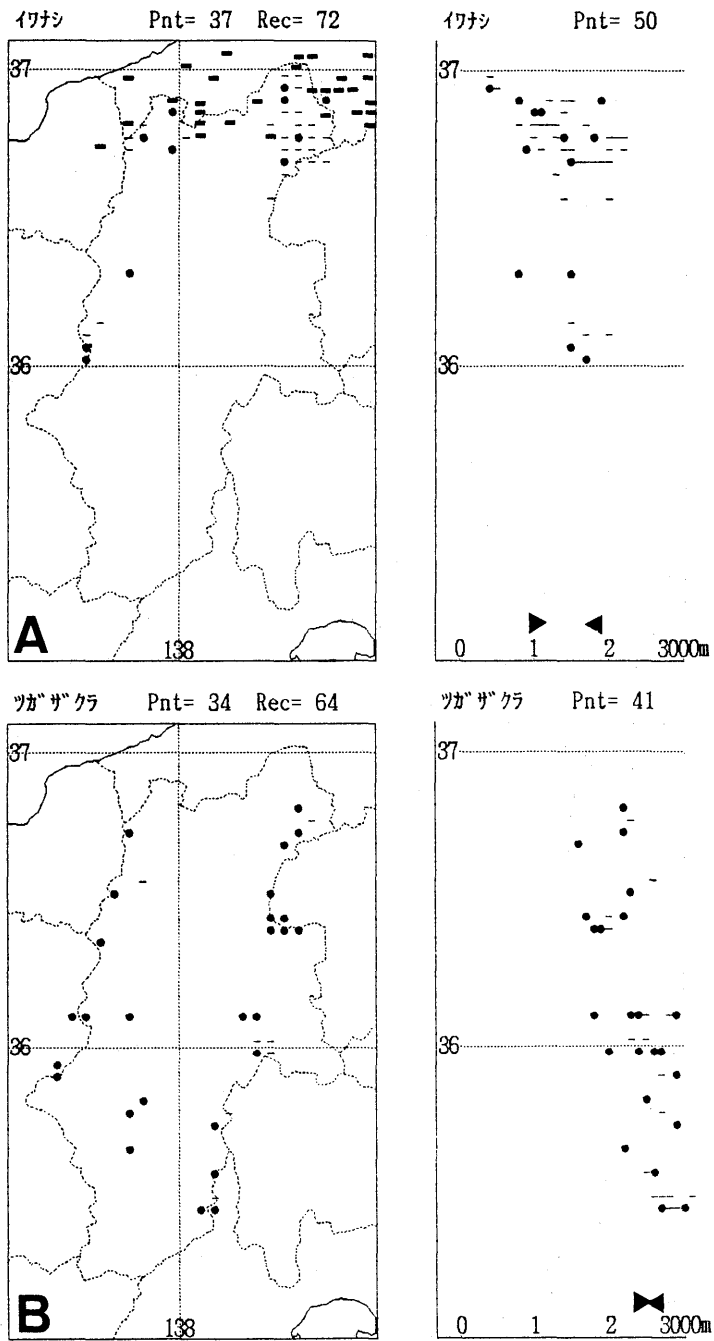


図 16. A : *Epigaea asiatica*. B : *Phyllodoce nipponica*.

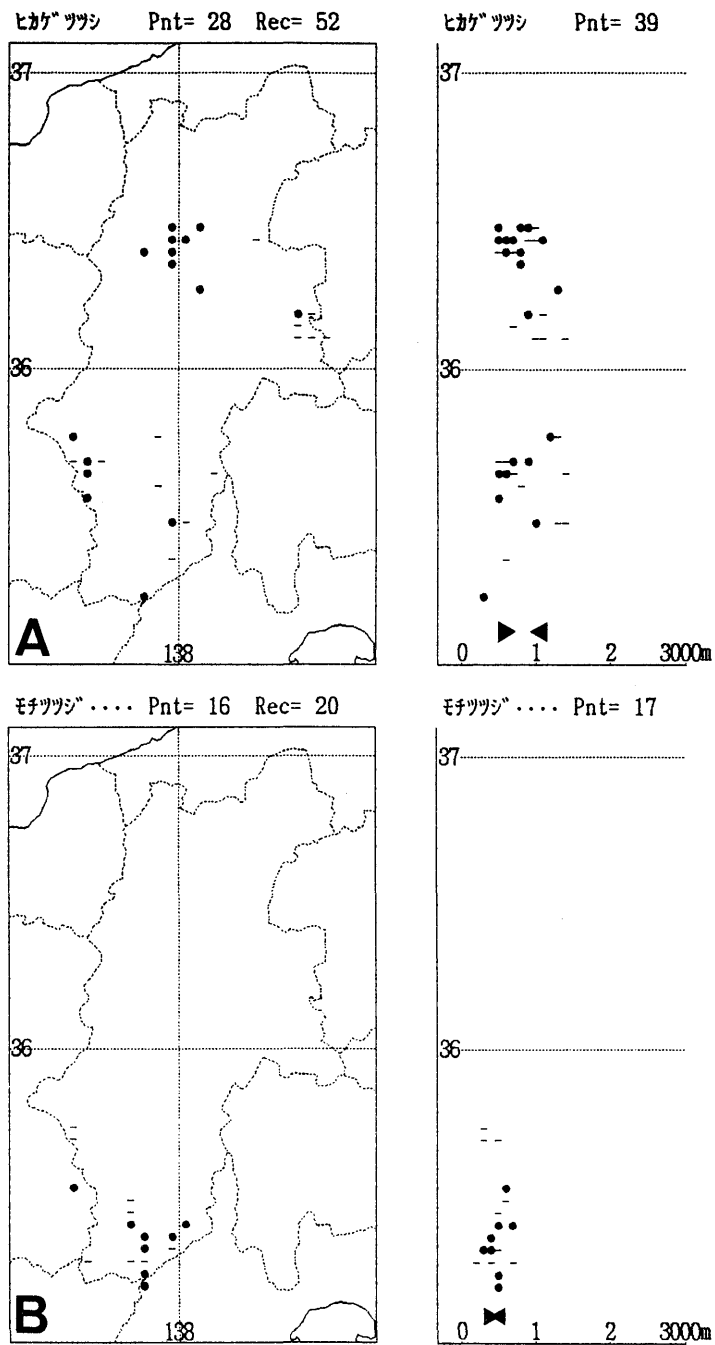


図 17. A : *Rhododendron keiskei*. B : *Rhododendron macrosepalum*.

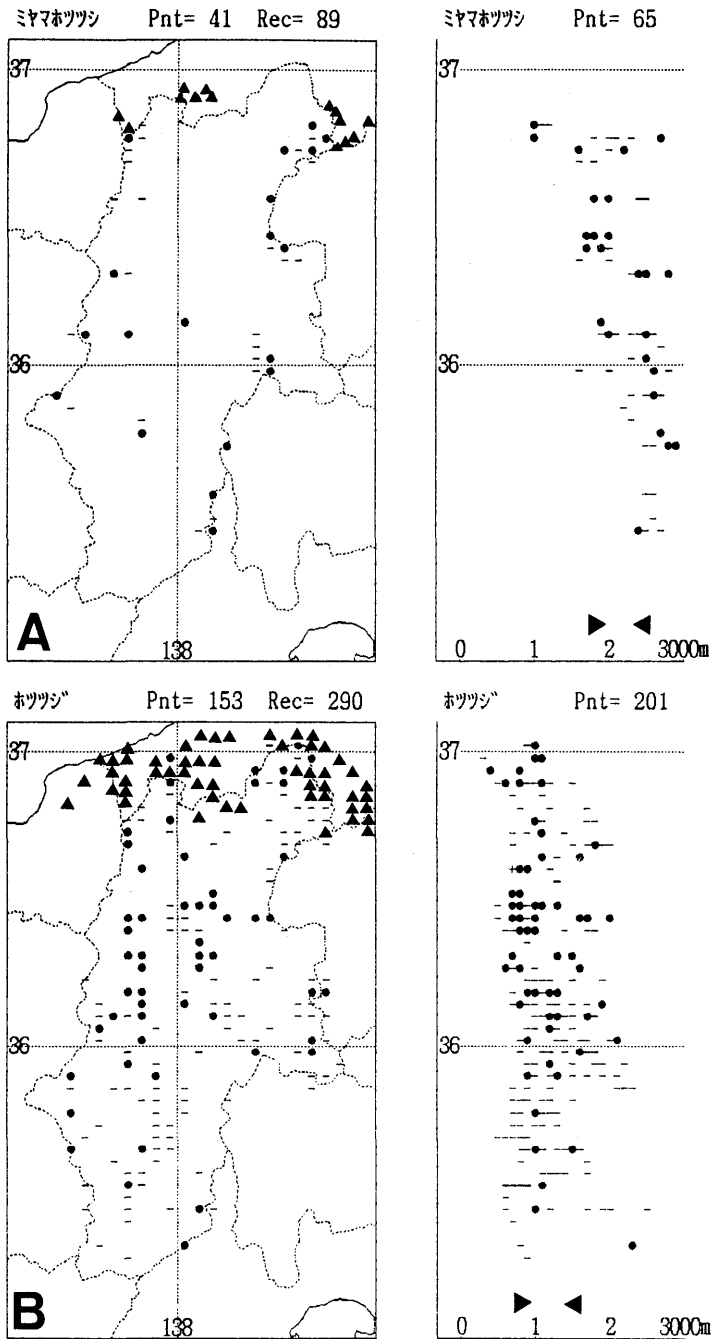


図 18. A : *Tripetaleia bracteata*. B : *Tripetaleia paniculata*.

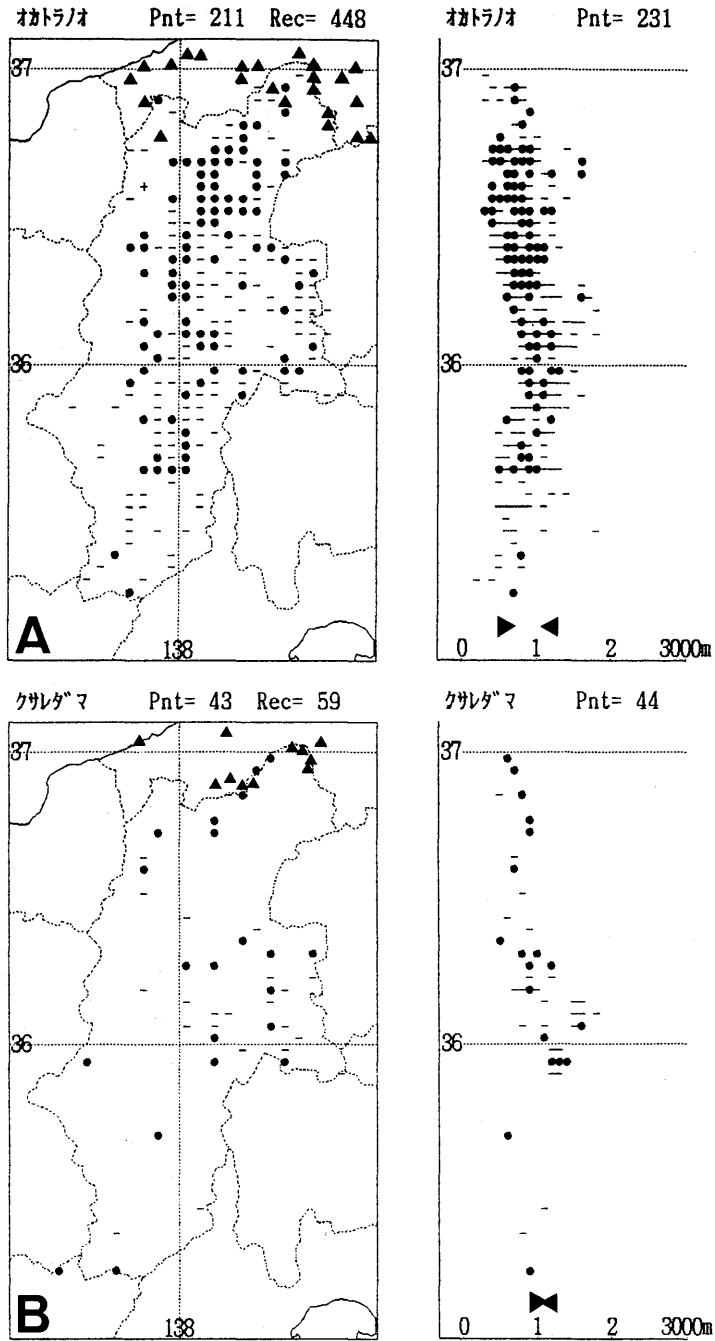


図 19. A : *Lysimachia clethroides*. B : *Lysimachia vulgaris* var. *davurica*.

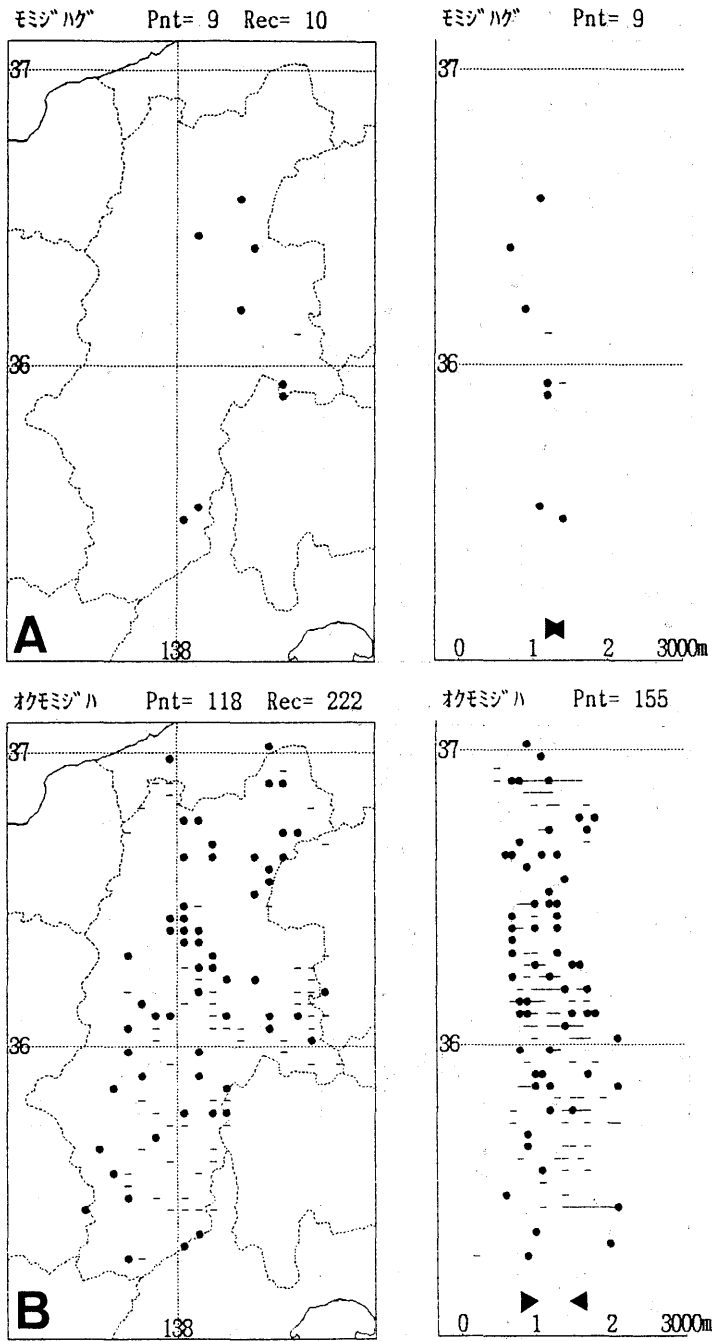


図 20. A : *Ainsliaea acerifolia*. B : *Ainsliaea acerifolia* var. *subapoda*.

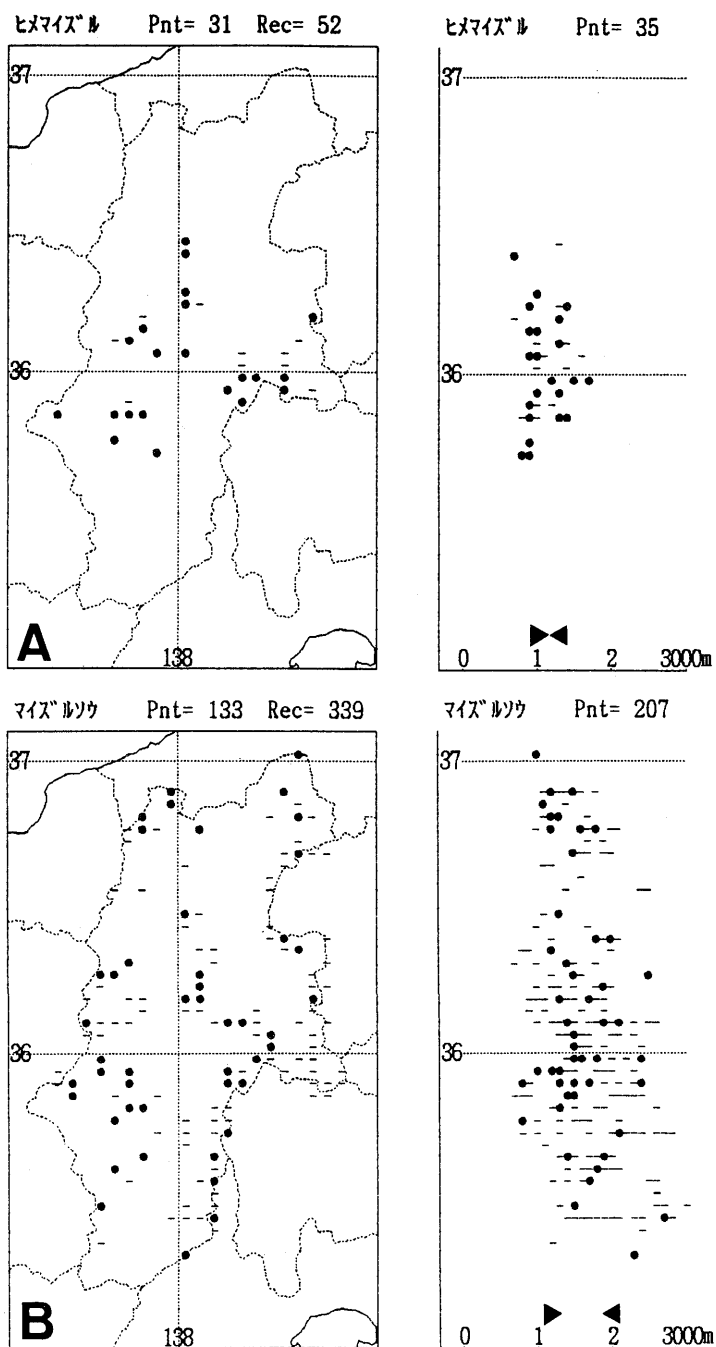
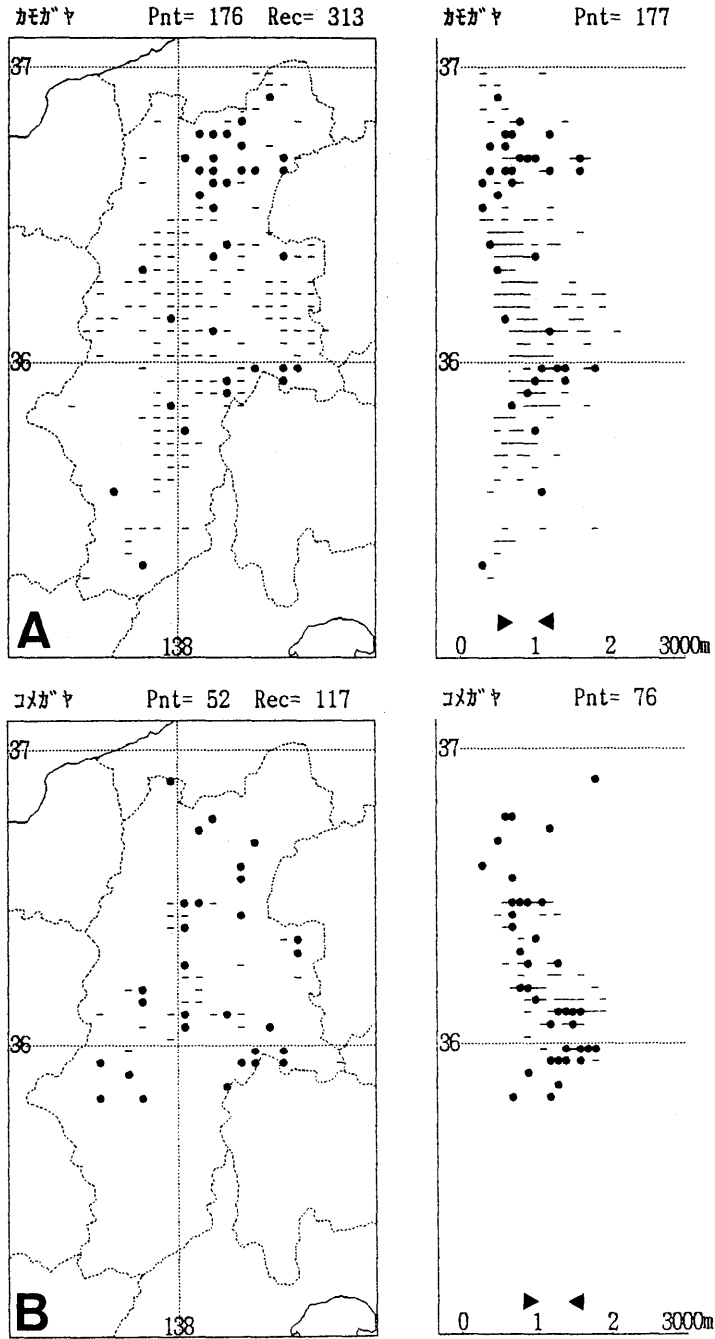


図 21. A : *Maianthemum bifolium*. B : *Maianthemum dilatatum*.



☒ 22. A : *Dactylis glomerata*. B : *Melica nutans*.

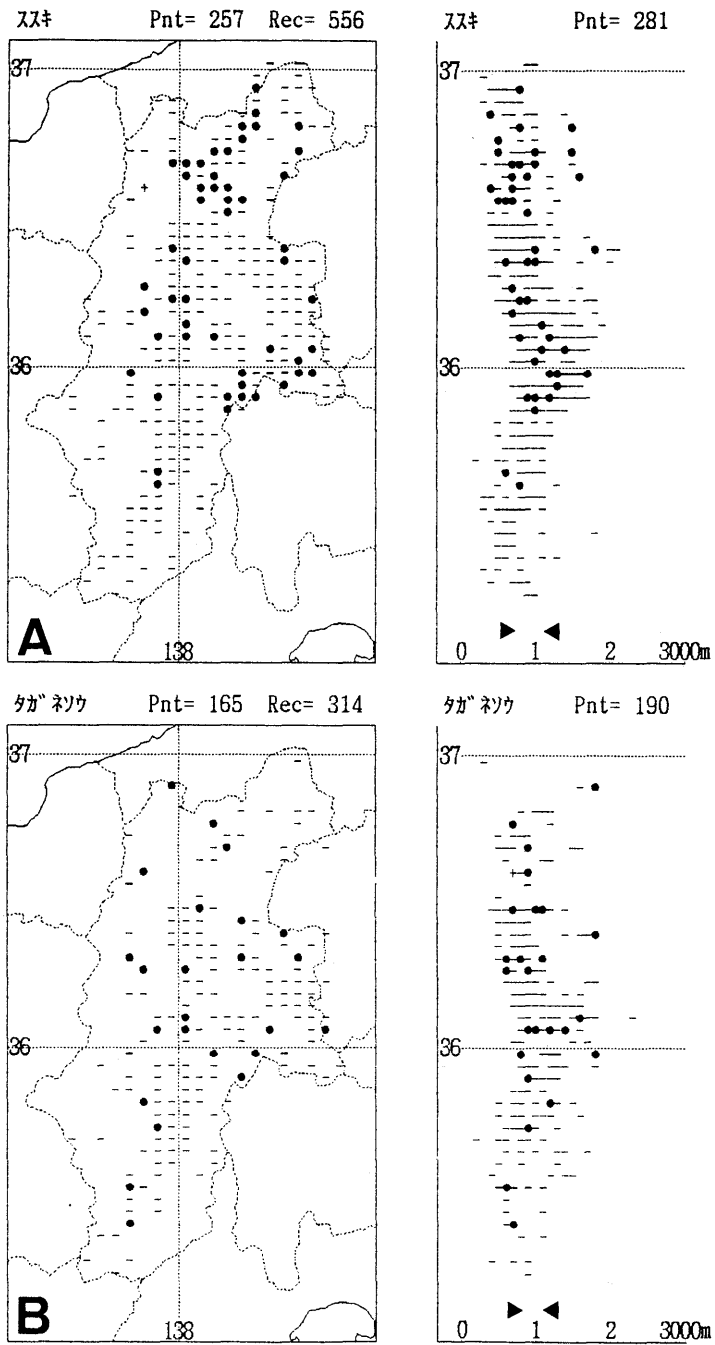


図 23. A : *Miscanthus sinensis*. B : *Carex siderosticta*.